

## 平成24年度年末年始のごみ収集・し尿くみ取り計画についてのお知らせ (12月25日〔火〕～1月7日〔月〕)

### ● ごみ収集

	収集地区	収集日	直接持ち込み
年末	星の川団地、竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	12月27日（木） 12月30日（日）	12月29日（土）まで 通常持ち込み (午前9時～午後4時30分)
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	12月25日（火） 12月28日（金）	※個人・事業者の持込可 ※持込時間は厳守してください。
年始	星の川団地、竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	1月7日（月） から	1月4日（金）から 通常持ち込み
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	1月4日（金） から	

※クリーンセンターへの直接持ち込みは有料です（100円/10<sup>kg</sup>）。

#### ▶ お問い合わせ先

御船町甲佐町衛生施設組合（クリーンセンター） ☎096 - 282 - 0688

### ● し尿くみ取り

	収集地区	くみ取り日	備考
年末	全地区	12月28日（金） まで	年末は非常に混み合いますので、早めにし尿汲み取り業者にお申し込みください。
年始	全地区	1月4日（金） から	通常受け入れ

#### ▶ お問い合わせ先

・米村衛生社（甲佐地区〔東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部・星の川団地の一部を除く〕）

☎096 - 234 - 0308

・甲佐衛生社（宮内地区、甲佐地区〔東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部、星の川団地の一部〕、竜野地区、乙女地区、白旗地区）

☎096 - 234 - 1217

## 史跡「陣ノ内館跡」 発掘調査レポート #29



「陣ノ内館跡」土塁南側斜面の土の断面図

### ■堆積した土から分析する「館跡」

平成21年度に行った発掘では、土塁南側斜面の根元部分を調べました。この際に、堆積した土の断面を見たところ、自然に堆積した土の上には大きく分けて次の3種類の土がありました。(右図参照)

- 黄土色土と茶色土がブロック状に混ざった土(1〜4層)
- 2層の土から近代(明治〜昭和初期)の磁器が出土したので、土塁脇に道を作った際に堆積した造成の土と考えられます。
- 茶色土に黄土色土が混ざった土(5・7・8層)

7〜8層の上には茶色土と黄土色粘土(6層)が帯状に堆積し、その上には5層がほぼ水平に堆積

しています。素焼きの「かわらけ」と呼ばれる皿が出土していることから、中世〜近世(鎌倉〜江戸時代)に土塁を作った際の基礎固めの土と考えられます。また6層は、基礎を強固にするために乾燥すれば固くなる「粘土」をあえて敷いたものとみられます。

### ●黒色土に炭が粒状に混ざった土(9層)

9層も「かわらけ」が出土していることから、これも当初は中世〜近世に土塁を構築した際の基礎固めの造成の土と考えていました。その後の調査で、土塁の下には9層と同質の黒色土が広く堆積・分布していることが分かりました。その分布範囲があまりに広いので、9層は人為的な造成の土ではなく、自然にある「クロボク土」ではないかと指摘がありました。

もし「クロボク土」であれば、人の手が加わっていない土が土塁下に広範囲にあり、阿蘇大宮司と呼ばれる豪族が活躍した中世の遺構が良好に残っている可能性もあります。

今年度の調査では、この黒色土が「クロボク土」なのか、その謎の解明に取り組みます。

### ■子どもの個性を伸ばす働きかけ

子どもたちには、自分自身を正しく理解し、性別にかかわらず自分の良さを伸ばしたいという思いがあります。

この自分を伸ばしていこうとする態度をはぐくむとともに、子どもたち一人ひとりの個性や良さを認め、一人ひとりが自信を持って行動できるような働きかけを発達段階に応じて行っていくことが必要です。

### ■学校教育の果たす役割

学校教育における男女共同参画については、子どものときから男女共同参画の意識を育てることが大切です。その中でも、学校教育の果たす役割は極めて大きいもの

があります。

現在、本町の小・中学校においては、男女混合の名簿の実施、中学校における技術・家庭科の男女共修、人権教育や性教育などの男女お互いの理解を深める学習に取り組んでいます。

また中学生は、町の思春期健康事業(赤ちゃんとの交流体験教室)での体験学習などへの参加も行っています。

県では、男女共同参画社会の実現を支援するために、小・中・高校生向けの資料を作成し、学習を支援しています。

### ■男女平等の視点で教育を実践

小・中学校の教職員に関しても、半数近くが女性(本町の小・中学校でも5割)であり、女性管理職も増えているなど、男女平等の意識の醸成が図られやすい環境が作られており、男女平等の視点に立った教育の実践が行われています。

### ▼お問い合わせ先

甲佐町男女共同参画社会推進懇話会(事務局・町住民生活課内)

TEL 096-234-1113  
(内線102)

## 学 校 女 共 同 参 画



中学校における技術科の男女共修